

2023年上半期(1～6月期)出版市場

紙+電子は3.7%減の8,024億円、紙が8.0%減、電子が7.1%増

出版業界の調査研究機関である（公社）全国出版協会・出版科学研究所（所在地：東京都新宿区 理事長：浅野純次）は、2023年上半期（1～6月期累計）の出版市場規模を『季刊 出版指標』2023年夏号（7月25日発売）で発表しました。

紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、前年同期比3.7%減の8,024億円。紙の市場は同8.0%減となり、電子出版は同7.1%増。電子コミックはプラスでしたがそれ以外は減少し、全体ではマイナスとなりました。

紙市場は5,482億円、書籍は6.9%減、雑誌は9.7%減

2023年上半期の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年同期比8.0%減の5,482億円。内訳は書籍が同6.9%減の3,284億円、雑誌が同9.7%減の2,197億円。市場を大きく牽引するヒットやトレンドもなく、引き続き減少しました。書籍は文芸書やゲーム攻略本、旅行ガイドなどは健闘したがその他主要ジャンルは落ち込みました。雑誌は月刊誌（ムック、コミックス含む）が同9.6%減の1,839億円、週刊誌が同10.6%減の358億円。月刊誌の内訳は定期誌が約8%減、ムックが約9%減、コミックスが約12%減。定期誌は『週刊朝日』など歴史ある雑誌が休刊。刊行本数を減らす雑誌も目立ちます。コミックスは巣ごもり需要の終息もあり市場は縮小。

電子出版市場は2,542億円、電子コミックは8.3%増、電子書籍は0.4%減

2023年上半期の電子出版市場は同7.1%増の2,542億円。内訳は電子コミックが同8.3%増の2,271億円、電子書籍が同0.4%減の229億円、電子雑誌が同8.7%減の42億円でした。電子市場の9割近くを占めるコミックが成長したことで前年を上回りましたが、成長率は一桁台に縮小しました。電子書籍は一部ベストセラーやライトノベル、ボーンデジタル写真集など着実に成長しているジャンルもありましたがほぼ前年並み。電子雑誌は圧倒的シェアを誇る定額読み放題サービス「dマガジン」の会員数がゆるやかながら減少しました。

■ 上半期(1～6月期) 紙と電子の出版物推定販売金額

年		2021年1～6月期 (億円)	2022年1～6月期 (億円)	2023年1～6月期		占有率(%)
				(億円)	前年同期比(%)	
紙	書籍	3,686	3,526	3,284	93.1	40.9
	雑誌	2,759	2,434	2,197	90.3	27.4
	紙合計	6,445	5,961	5,482	92.0	68.3
電子	電子コミック	1,903	2,097	2,271	108.3	28.3
	電子書籍	231	230	229	99.6	2.9
	電子雑誌	53	46	42	91.3	0.5
	電子合計	2,187	2,373	2,542	107.1	31.7
紙+電子	紙+電子合計	8,632	8,334	8,024	96.3	100.0

※占有率の合計は四捨五入の関係で一致しない ※電子コミック誌は電子コミックに含む



『季刊 出版指標 2023年夏号』

頁数：83 ページ

判型：B5 判

発売：2023年7月25日（年4回 25日発売）

頒価：4,400円（本体4,000円+税）送料別

[第1特集] 2023年上半期 書籍・雑誌分野別動向

[第2特集] 2023年上半期 電子出版市場

[第3特集] 児童書マーケットと読書推進活動

<本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当：原・柴田

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

<https://www.shuppankagaku.com>